

令和 5 年

高松市消費者物価指数の動き

Consumer Price Index

香川県政策部統計調査課

目 次

I	高松市消費者物価指数の動向	
1	概況	1
2	総合指数の動き	2
3	費目別指数の動き	3
II	統計表	
1	高松市中分類指数	8
2	消費者物価指数の推移	13
III	参考	
1	消費者物価指数のしくみと見方（利用者のために）	14
2	基本分類表	18
3	中分類別ウェイト（高松市・全国）	22
4	家計調査	23

I 高松市消費者物価指数の動向

1 概況

◆◆◆ 総合指数104.7 対前年上昇率2.9% ◆◆◆

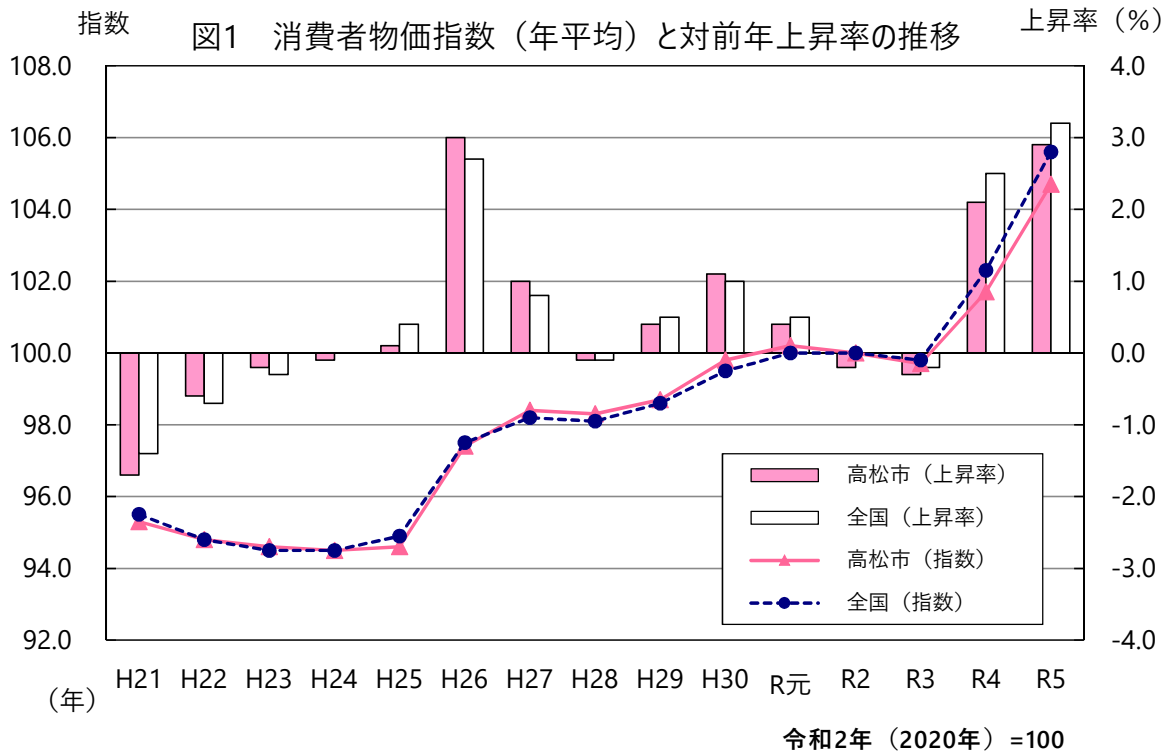
令和5年（令和5年1月～令和5年12月）平均の高松市消費者物価指数は、令和2年平均を100とした総合指数で104.7となり、前年より2.9%上昇した。

生鮮食品を除く総合は104.2となり、前年より2.7%上昇した。

近年の総合指数の動きを対前年比でみると、平成20年9月のリーマン・ショック後、平成24年まで4年連続の下落となった。平成25年、5年ぶりに上昇に転じて以降は2回の消費税率の引き上げもあり、概ね上昇傾向が続いた。令和2年及び3年は、2年連続の下落となったが、令和4年は、ロシアのウクライナ侵攻や円安の進行により、原油価格や原材料費が上昇し、消費税増税の影響を除くと31年ぶりの高い上昇率となった。令和5年は、「電気・ガス価格激変緩和対策事業」など、政府の料金抑制政策により光熱費は下落したが、原材料費や人件費などの上昇により、食料をはじめ幅広い品目で値上がりし、対前年比が消費税増税の影響を除くと42年ぶりの高い上昇率となった。

また、全国の令和5年平均総合指数は105.6となり、前年より3.2%上昇した。

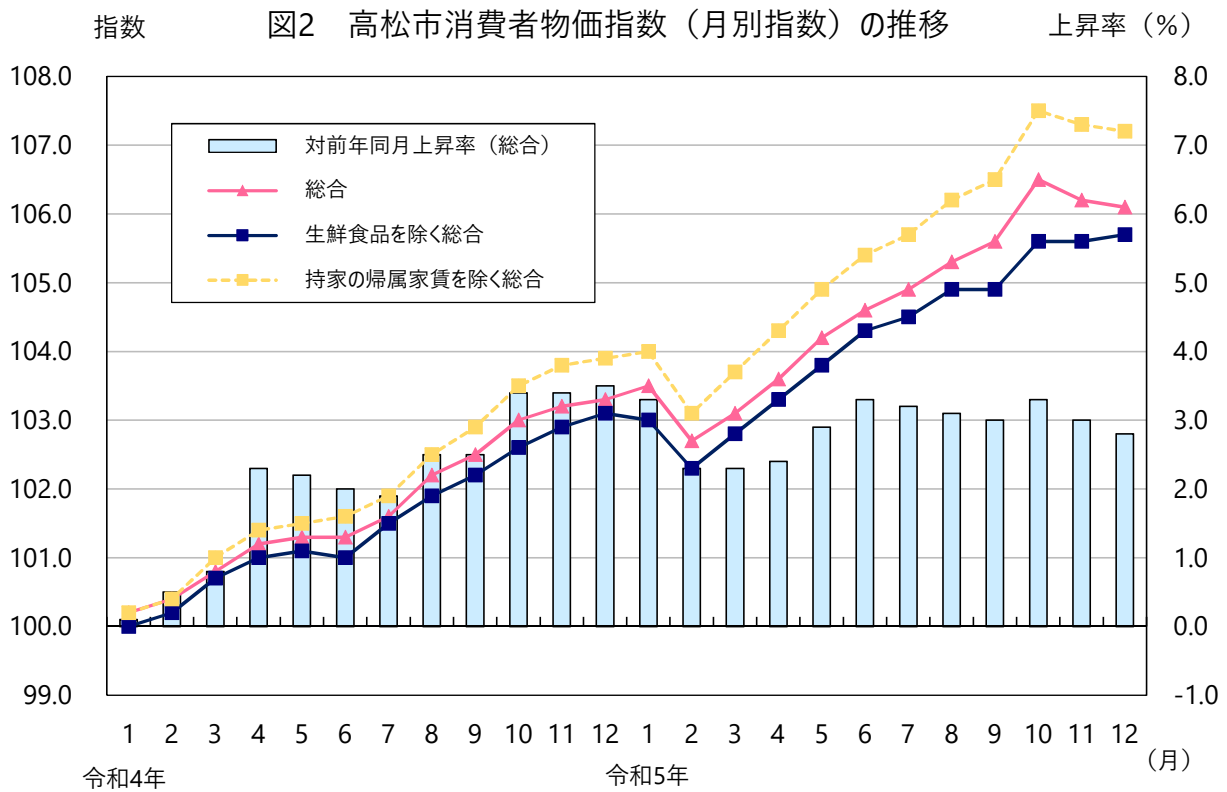
(図1)



2 総合指数の動き

令和5年平均の高松市消費者物価指数（総合指数）の対前年上昇率は、**2.9%**であった。
 この1年間における月別の総合指数の動きをみると、対前年同月比は、3月から10月にかけて上昇していたが、11月以降は下落している。
 なお、生鮮食品を除く総合指数は104.2で前年に比べ**2.7%**の上昇、持家の帰属家賃を除く総合指数は105.5で前年に比べ**3.4%**の上昇となっている。

(図2)



3 費目別指数の動き

10大費目の動きを前年比で見ると、「家具・家事用品」「食料」「教養娯楽」など7費目が上昇し、「光熱・水道」「教育」「被服及び履物」の3費目が下落している。

<上昇した費目>

家具・家事用品	(9.0%)	家事用消耗品などの値上がり
食料	(7.7%)	乳卵類などの値上がり
教養娯楽	(4.3%)	教養娯楽用品などの値上がり
保健医療	(2.4%)	保健医療用品・器具などの値上がり
交通・通信	(2.3%)	通信などの値上がり
諸雑費	(1.1%)	身の回り用品などの値上がり
住居	(0.5%)	設備修繕・維持の値上がり

<下落した費目>

光熱・水道	(△7.3%)	電気代などの値下がり
教育	(△2.4%)	授業料等の値下がり
被服及び履物	(△0.2%)	シャツ・セーター・下着類の値下がり

(図3, 図4)

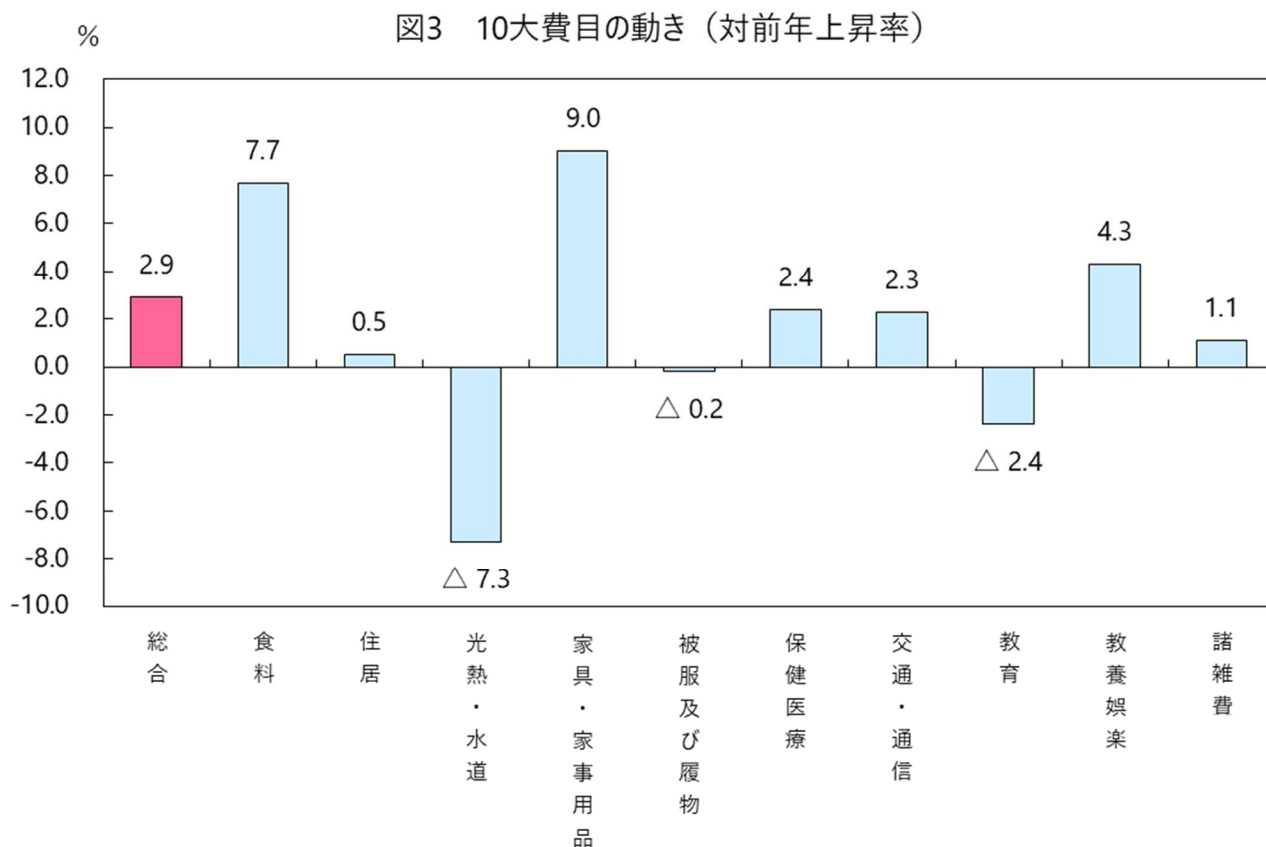
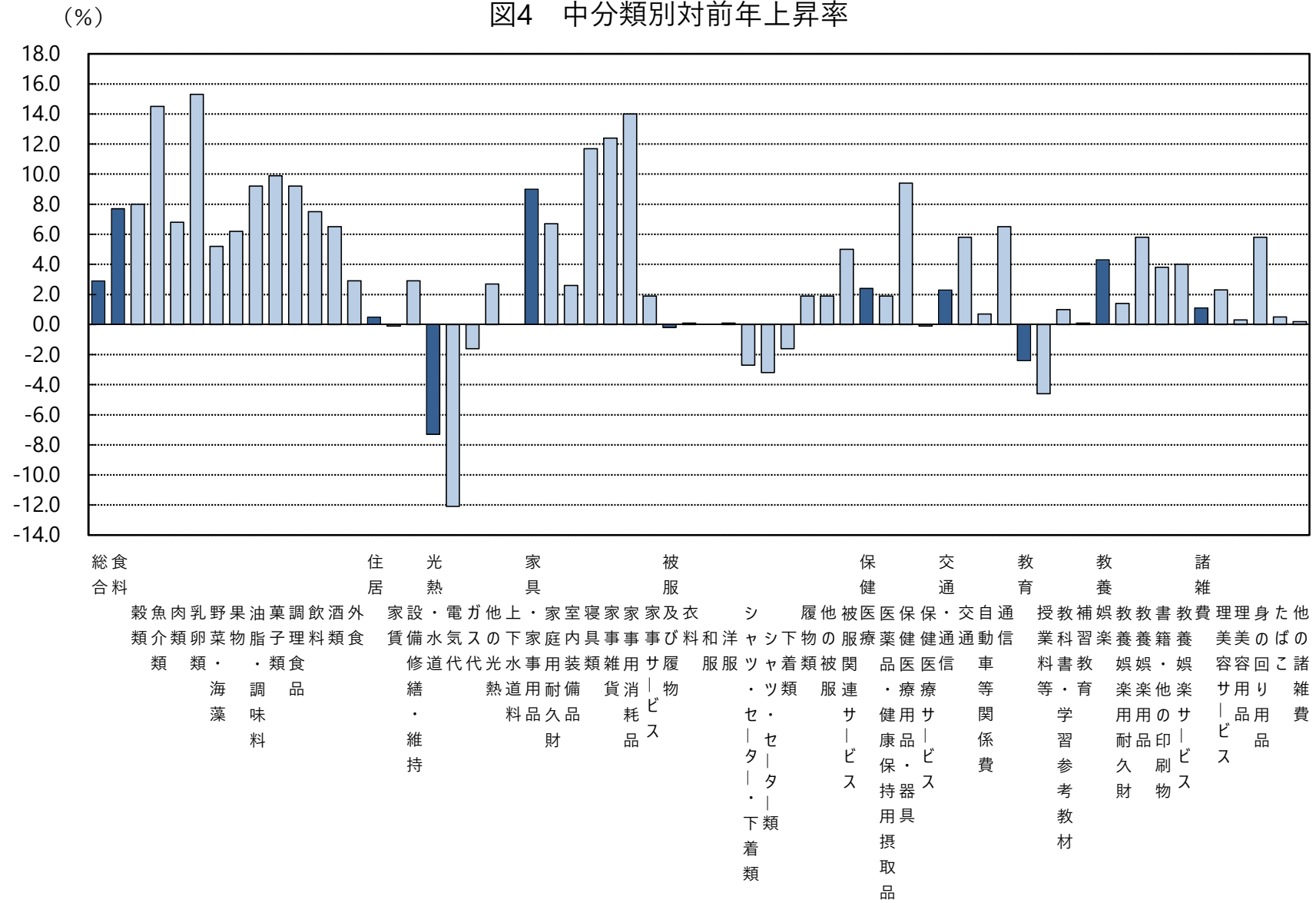


図4 中分類別対前年上昇率

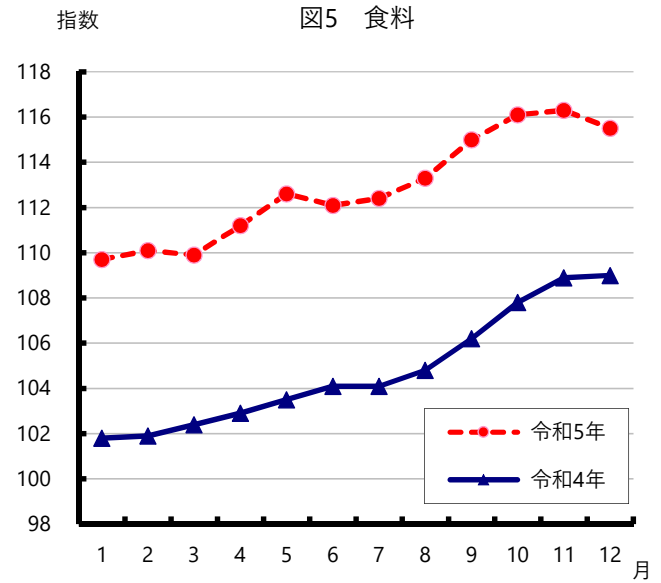


【食料】 指数 112.9

全体で前年比 7.7%の上昇

- 上昇 乳卵類 (15.3%) ,
- 魚介類 (14.5%) ,菓子類 (9.9%) ,
- 油脂・調味料 (9.2%) ,
- 調理食品 (9.2%) , 穀類 (8.0%) ,
- 飲料 (7.5%) ,肉類 (6.8%) ,
- 酒類 (6.5%) ,果物 (6.2%) ,
- 野菜・海藻 (5.2%) , 外食 (2.9%)

< 図5, 第1表 >

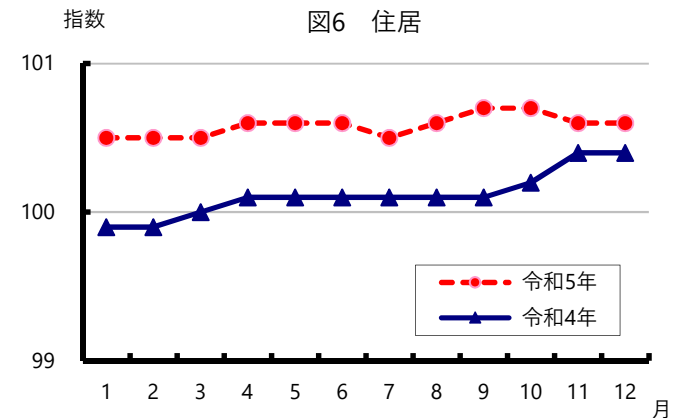


【住居】 指数 100.6

全体で前年比 0.5%の上昇

- 上昇 設備修繕・維持 (2.9%)
- 下落 家賃 (△0.1%)

< 図6, 第1表 >

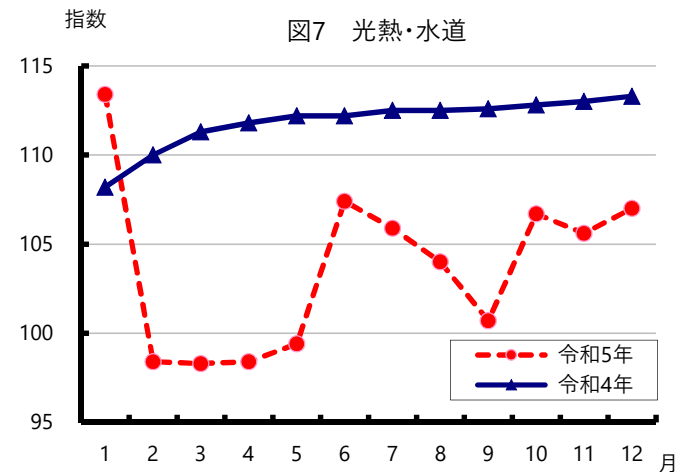


【光熱・水道】 指数 103.8

全体で前年比 7.3%の下落

- 上昇 他の光熱 (2.7%) ,
- 同水準 上下水道料
- 下落 電気代 (△12.1%) ,ガス代 (△1.6%)

< 図7, 第1表 >

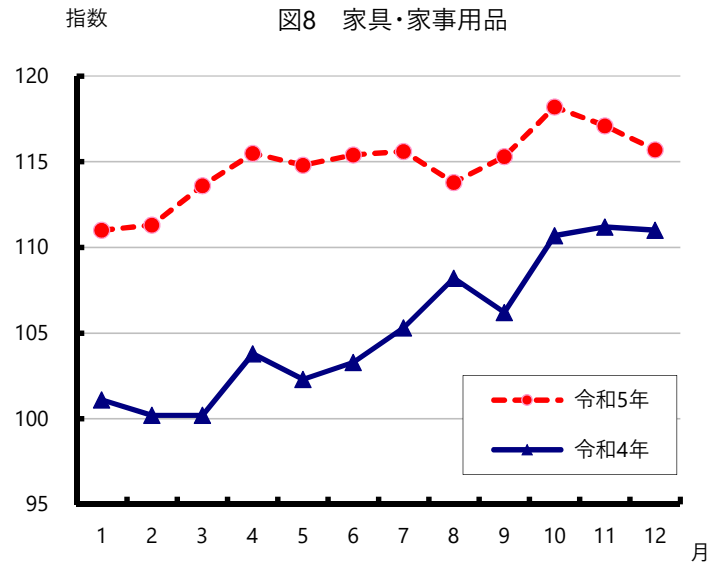


【家具・家事用品】 指数 114.8

全体で前年比 9.0%の上昇

上昇 家事用消耗品 (14.0%) ,
家事雑貨 (12.4%) , 寝具類 (11.7%) ,
家庭用耐久財 (6.7%) ,
室内装備品 (2.6%) ,
家事サービス (1.9%)

< 図8, 第1表 >



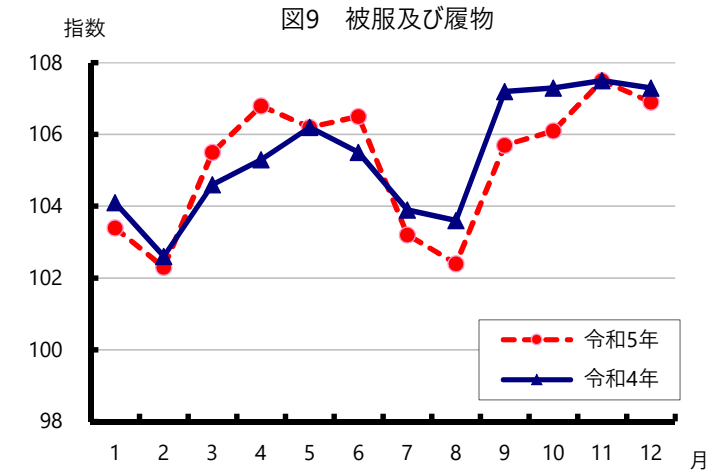
【被服及び履物】 指数 105.2

全体で前年比 0.2%の下落

上昇 被服関連サービス (5.0%) ,
履物類 (1.9%) , 他の被服 (1.9%) ,
衣料 (0.1%)

下落 シャツ・セーター・下着類 (△2.7%)

< 図9, 第1表 >



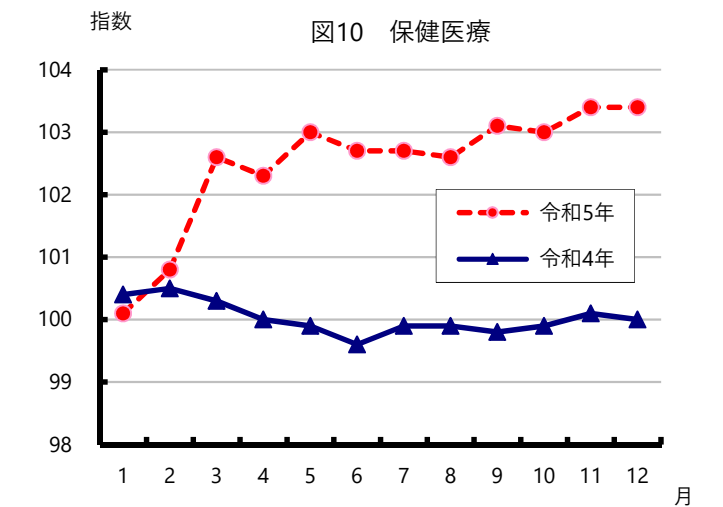
【保健医療】 指数 102.5

全体で前年比 2.4%の上昇

上昇 保健医療用品・器具 (9.4%) ,
医薬品・健康保持用摂取品 (1.9%)

下落 保健医療サービス (△0.1%)

< 図10, 第1表 >

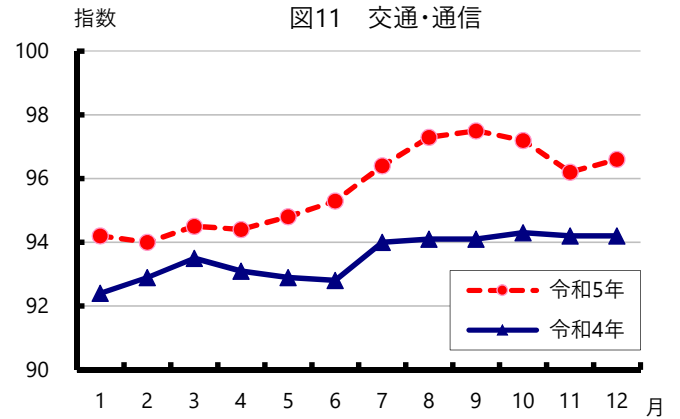


【交通・通信】 指数 95.7

全体で前年比 2.3%の上昇

- 上昇 通信 (6.5%) ,
- 交通 (5.8%) ,
- 自動車等関係費 (0.7%)

< 図11, 第1表 >

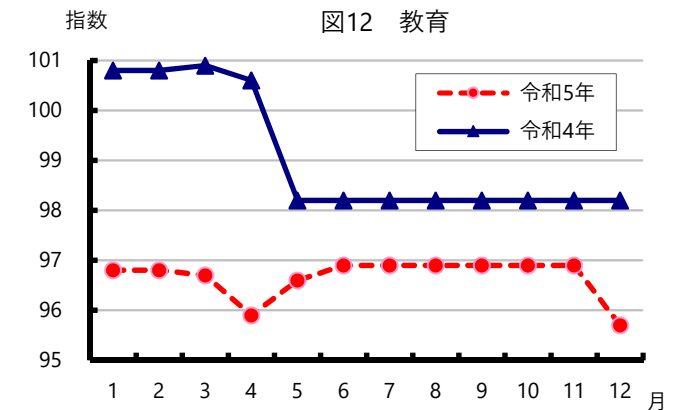


【教育】 指数 96.7

全体で前年比 2.4%の下落

- 上昇 教科書・学習参考教材 (1.0%) ,
- 補習教育 (0.1%)
- 下落 授業料等 (△4.6%)

< 図12, 第1表 >

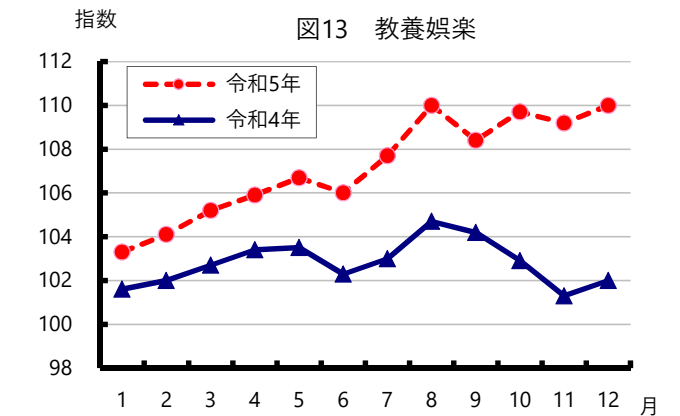


【教養娯楽】 指数 107.2

全体で前年比 4.3%の上昇

- 上昇 教養娯楽用品 (5.8%) ,
- 教養娯楽サービス (4.0%) ,
- 書籍・他の印刷物 (3.8%) ,
- 教養娯楽用耐久財 (1.4%)

< 図13, 第1表 >



【諸雑費】 指数 103.4

全体で前年比 1.1%の上昇

- 上昇 身の回り用品 (5.8%) ,
- 理美容サービス (2.3%) ,
- たばこ (0.5%) ,
- 理美容用品 (0.3%) ,
- 他の諸雑費 (0.2%)

< 図14, 第1表 >

